

令和 8 年度滋賀県総合防災訓練実施概要（案）

1 訓練目的

各防災機関、関係団体、企業、地域住民および児童生徒等の参加のもとに総合防災訓練を実施し、災害時において関係者が連携して、迅速かつ的確に対応できる体制の確立と県民の防災意識の高揚を図る。

2 訓練日時

令和 8 年 10 月 25 日（日） 8 時 30 分から 12 時まで

3 場 所（主会場）

甲賀市内（甲賀市水口スポーツの森）

4 訓練想定

訓練日当日の令和 8 年 10 月 25 日（日）午前 8 時 30 分、大雨が降っている状況で、紀伊水道付近を震源域とした、南海トラフ巨大地震が発生。甲賀市、湖南市で震度 6 強を観測し、建物の倒壊、火災発生、液状化の発生、ガス・水道・電気・電話等ライフライン施設、鉄道、道路、堤防の破損等があり、多数の死傷者・安否不明者が発生した。

5 訓練内容

各防災圏の訓練内容については、防災訓練の開催骨子に定められた次の訓練項目を参考にし、準備会議等を経て実施内容を決定するものとする。

(1) 第 1 次防災圏、第 2 次防災圏訓練

ア 地域共助訓練

- ・安否確認、救出救助、初期消火
- ・避難行動要支援者支援

イ 避難所開設・運営訓練

- ・避難や対策が困難な時間帯（夜間等）を想定
- ・避難広報・避難誘導・安否確認
- ・高齢者・外国人等避難行動要支援者避難支援
- ・避難所生活体験
- ・応急救護、炊出し・給水等
- ・ボランティアセンター開設

ウ 園児・児童・生徒等の避難誘導、救出救助訓練

エ 宿泊施設・事業所等における避難誘導、初期消火訓練

オ 火災防御訓練、救出救助訓練

カ 物資輸送訓練

キ 市町災害対策本部設置に係る訓練・情報収集伝達訓練

(2) 第3次防災圏訓練

- ア 林野・市街地等火災防御（遠距離送水）訓練
- イ 市街地等広域避難支援訓練
- ウ ア、イの訓練にかかる現地指揮調整本部の設置・運営訓練
- エ 現地医療体制の確保訓練
- オ 県災害対策地方本部設置に係る訓練・情報収集伝達訓練

(3) 県全土防災圏訓練

- ア 倒壊家屋や中高層建築物等による救出救助、火災防御、応急救護訓練
- イ 水難救助訓練
- ウ 毒物劇物流出事故、列車衝突事故等突発事故災害対応訓練
- エ 工場等大規模火災防御訓練
- オ ア～エの訓練にかかる現地指揮調整本部の設置・運営訓練
- カ 道路、河川等公共施設の応急復旧訓練
- キ ライフライン等防災関係機関災害対応訓練・応急復旧訓練
- ク 広域医療・物資輸送訓練
- ケ 県災害対策本部設置に係る訓練・広域的な情報収集伝達訓練
- コ 関係機関の緊密な連携訓練
自衛隊、警察、消防機関、医療機関、防災関係機関等による緊密な連携を図るための
実動訓練および図上訓練

6 訓練参加規模

参加人員：3,000名程度

参加機関：100機関程度

<参考> 訓練実施（予定）地域

平成26年度 大津市

平成27年度 長浜市、米原市

平成28年度 彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

平成29年度 草津市、守山市、栗東市、野洲市

平成30年度 甲賀市、湖南市

令和元年度 高島市

令和2年度 近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町

令和3年度 大津市（中止）

令和4年度 長浜市、米原市

令和5年度 大津市

令和6年度 彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

令和7年度 草津市、守山市、栗東市、野洲市

令和8年度 甲賀市、湖南市